

平成 27 年度

富山県男女共同参画社会に 関する意識調査

ダイジェスト版



調査概要

- 調査目的** 県内の男女の男女共同参画社会に関する意識を調査し、男女共同参画関係施策の基礎資料とします。
- 調査地域** 富山県全域
- 調査対象** 満20歳以上の男女1,200人
- 調査期間** 平成27年10月27日～11月24日
- 回収数** 1,000 (回収率83.3%)

[出典]
 県 (H21) : 「男女共同参画社会に関する意識調査」 (平成21年度) 富山県
 全国 (H24) : 「男女共同参画社会に関する世論調査」 (平成24年度) 内閣府
 全国 (H26) : 「女性の活躍推進に関する世論調査」 (平成26年度) 内閣府

調査結果

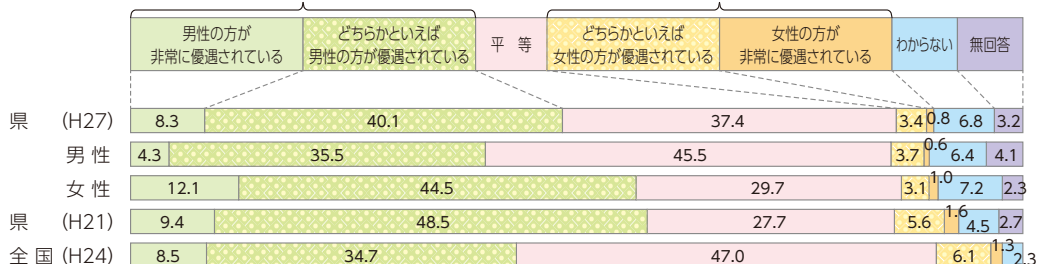
I 男女の平等

男女の地位の平等感

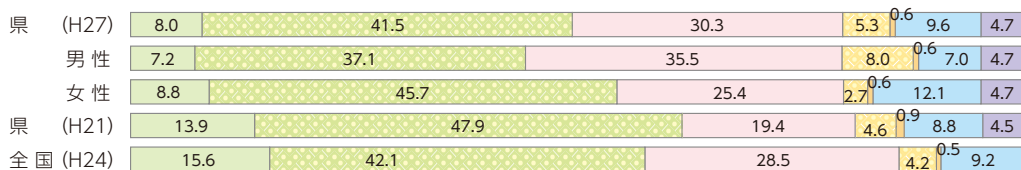
県 (H27) N=1,000
 男性 N=488
 女性 N=512
 県 (H21) N=1,016
 全国 (H24) N=3,033

男性の方が優遇されている 女性の方が優遇されている [単位: %]

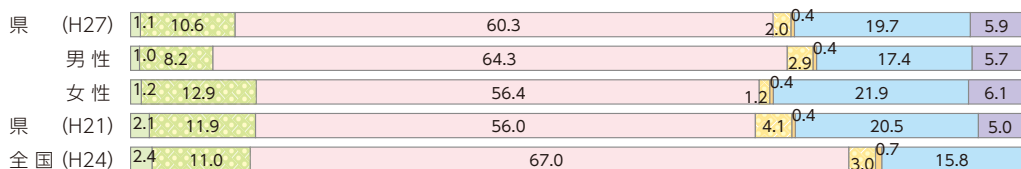
◆家庭生活で



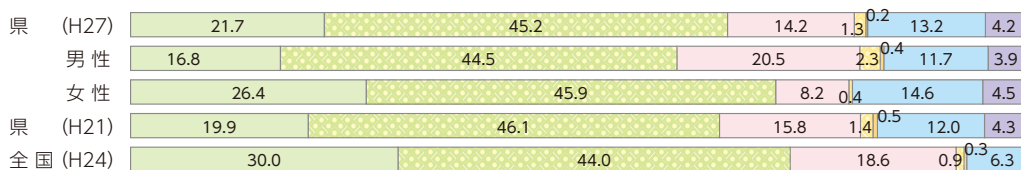
◆職場で



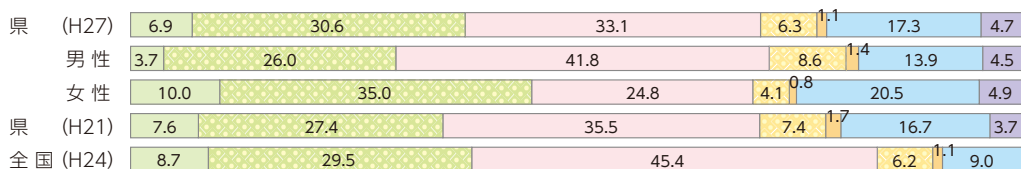
◆学校教育の場で



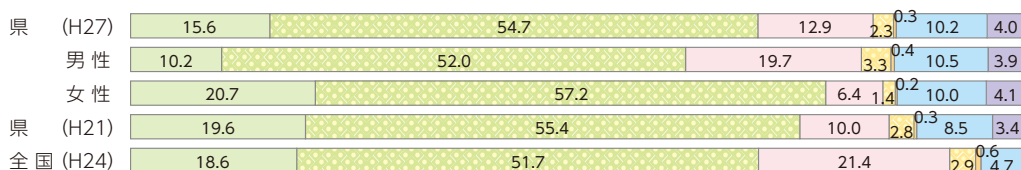
◆政治の場で



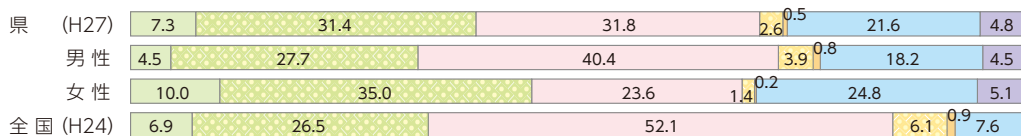
◆法律や制度の上で



◆社会通念・慣習・しきたりなどで

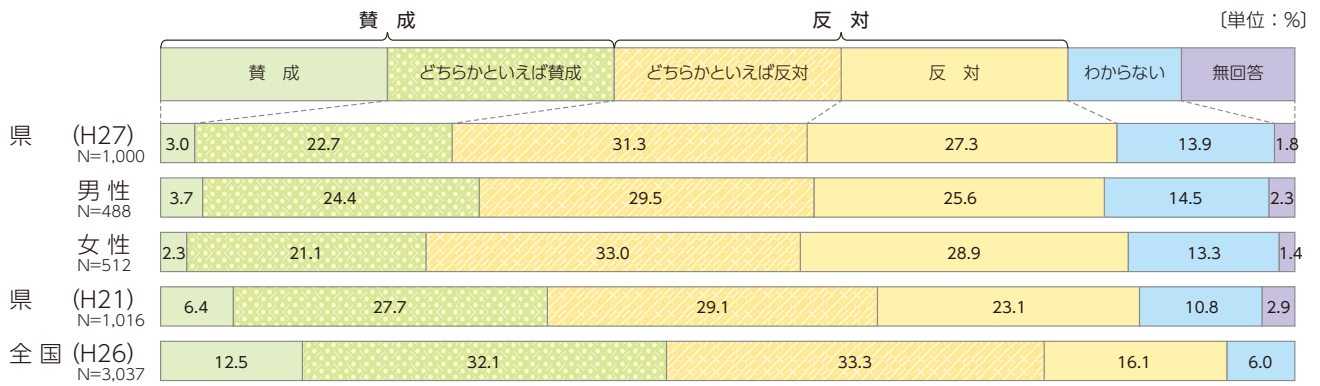


◆自治会やNPOなどの地域活動の場で



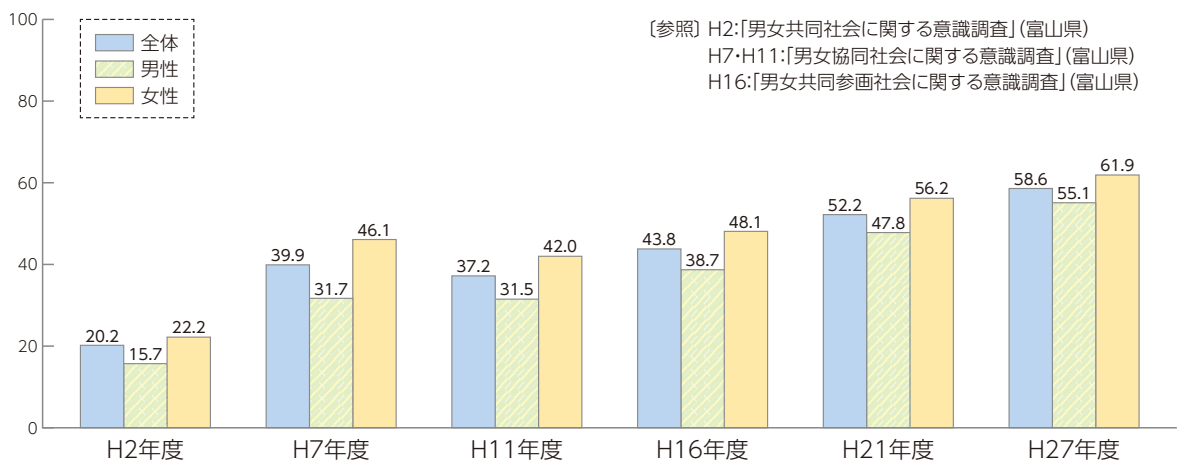
II 結婚・家庭に関する意識

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方



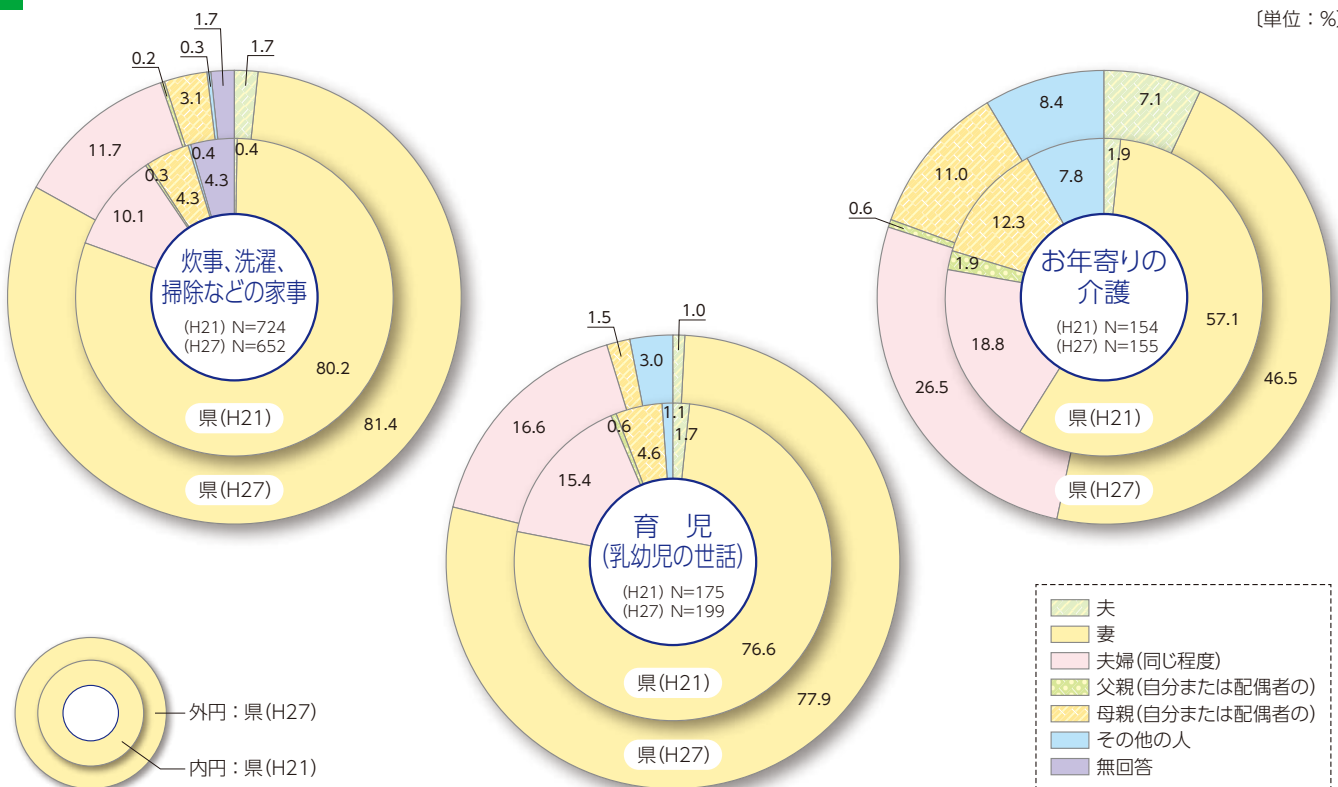
◆「反対」(「反対」+「どちらかといえば反対」と答えた人の割合の推移 (H2~H27年度)

[単位: %]



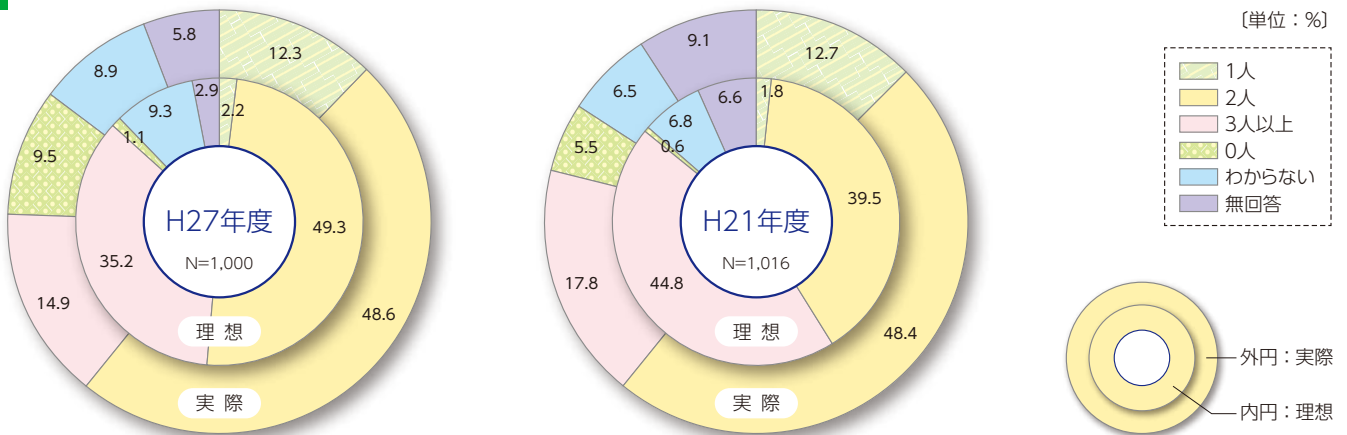
家庭での役割分担の状況

[単位: %]

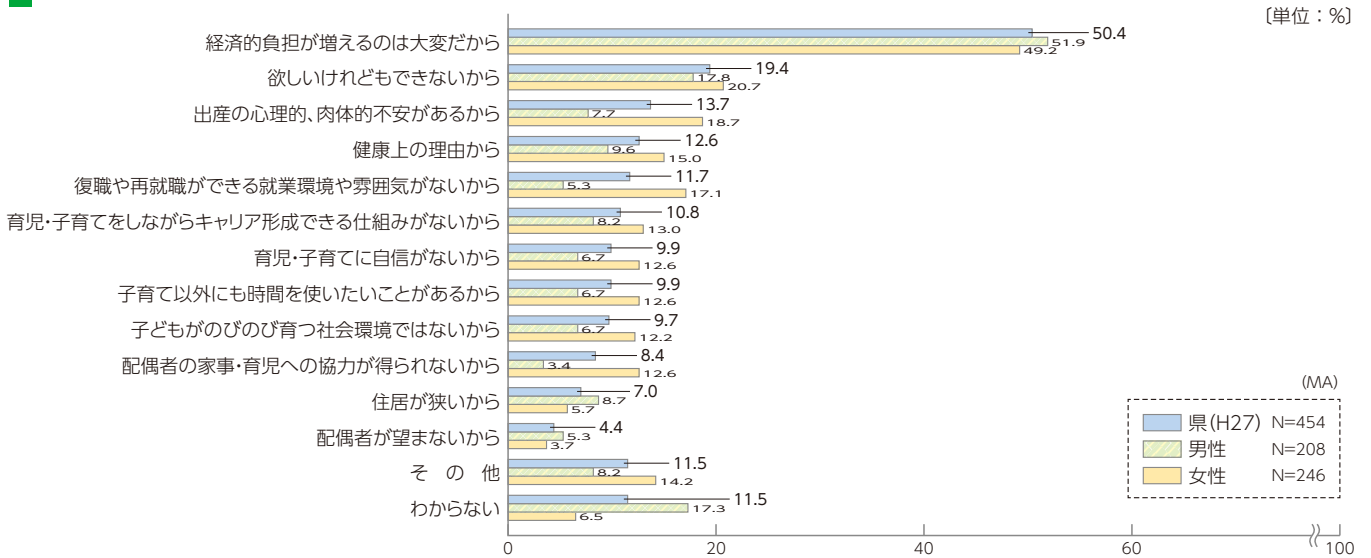


III 子ども・教育

理想と実際の子どもの数

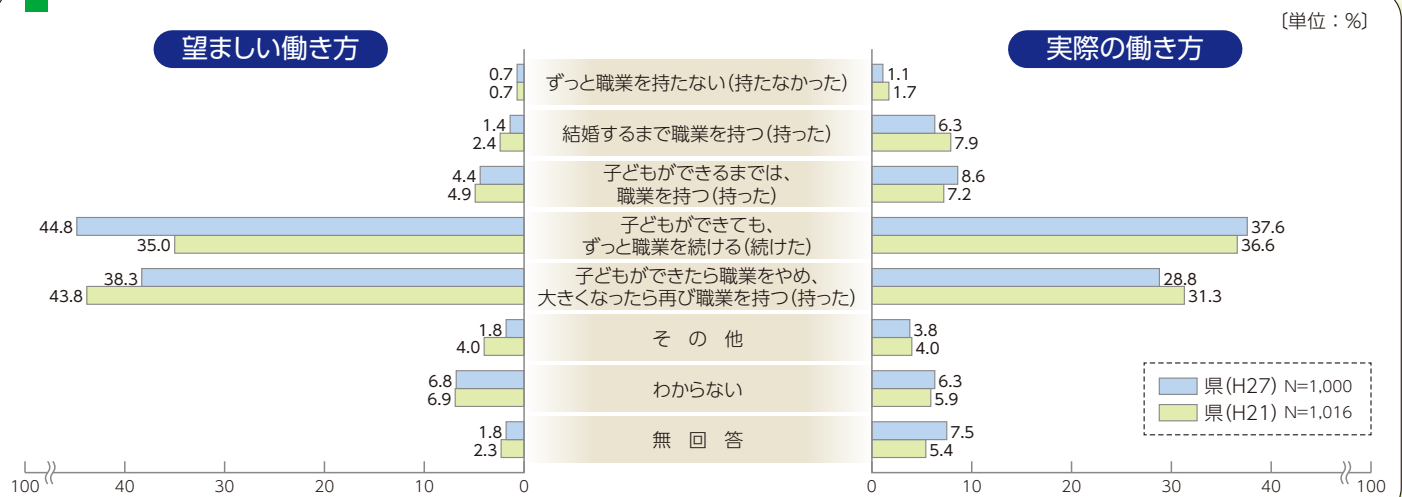


実際の子どもの数が理想より少ない理由

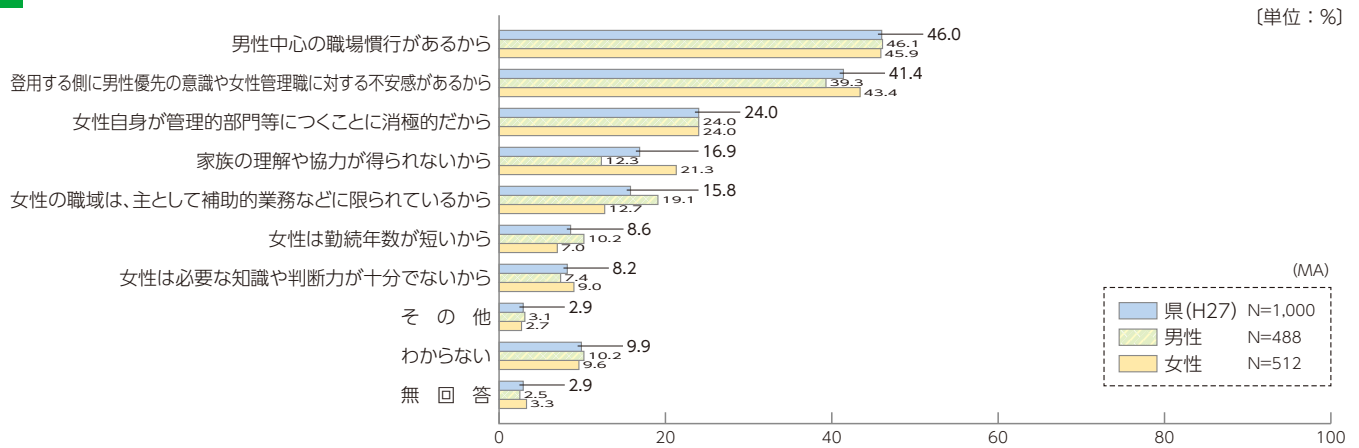


IV 就 業

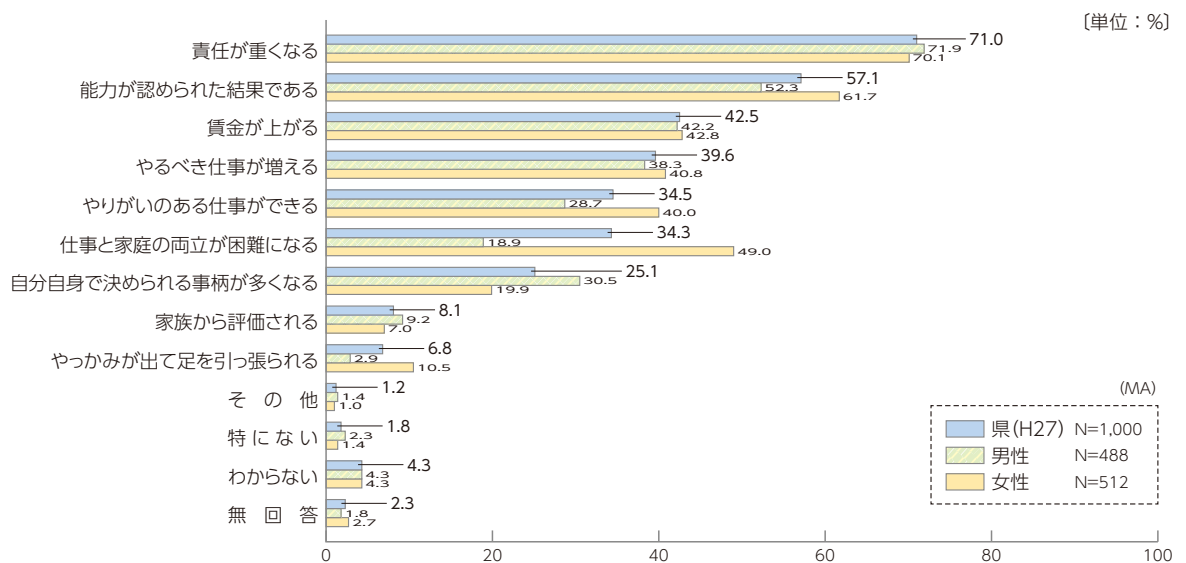
女性の理想と実際の就業形態



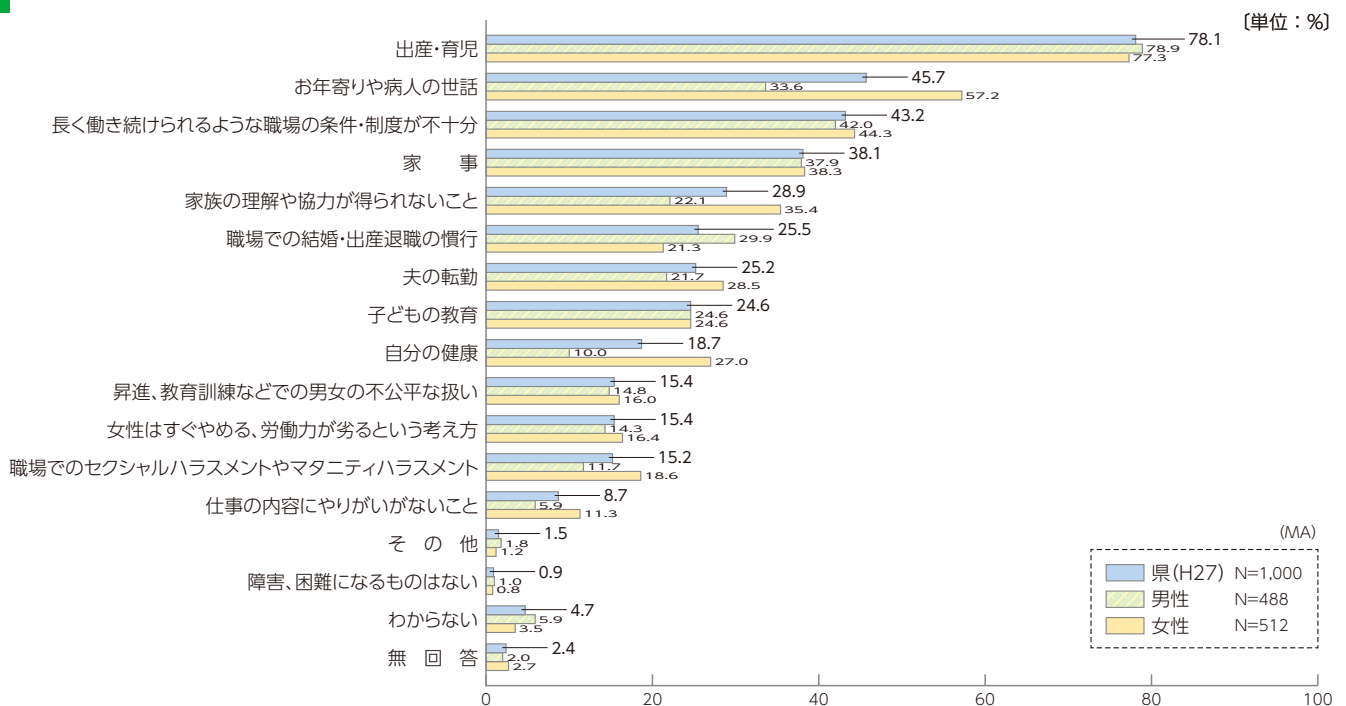
女性の管理的部門等への登用が少ない理由



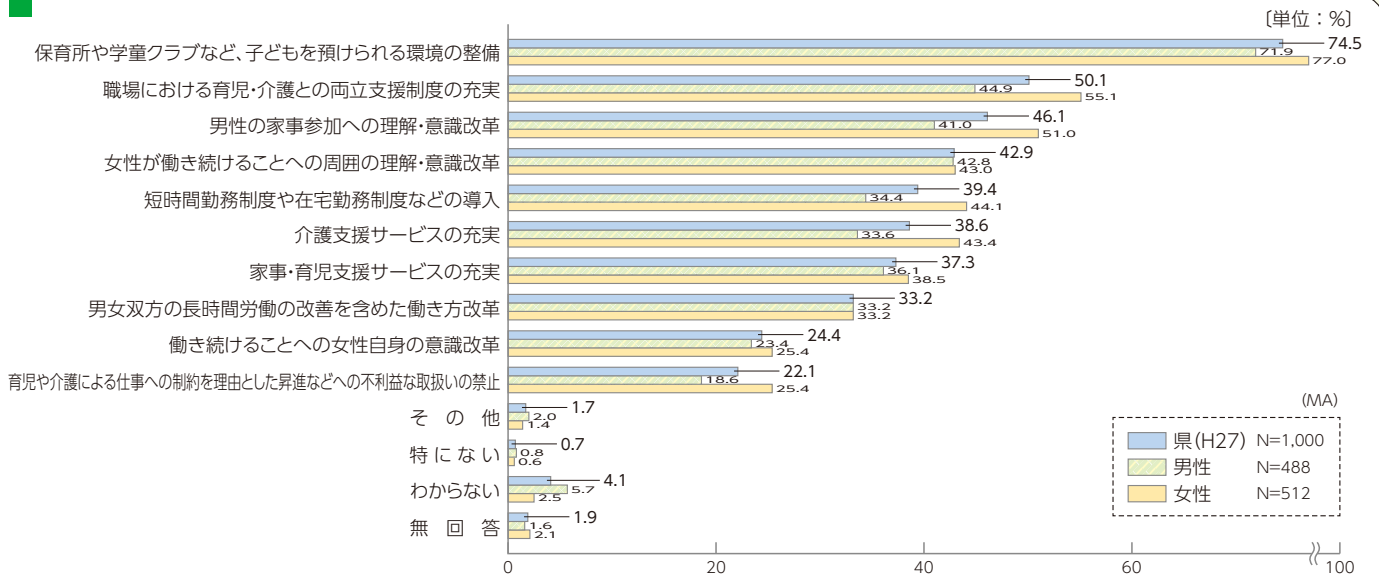
昇進に対するイメージ



女性が長く働き続けるのを困難にさせていること

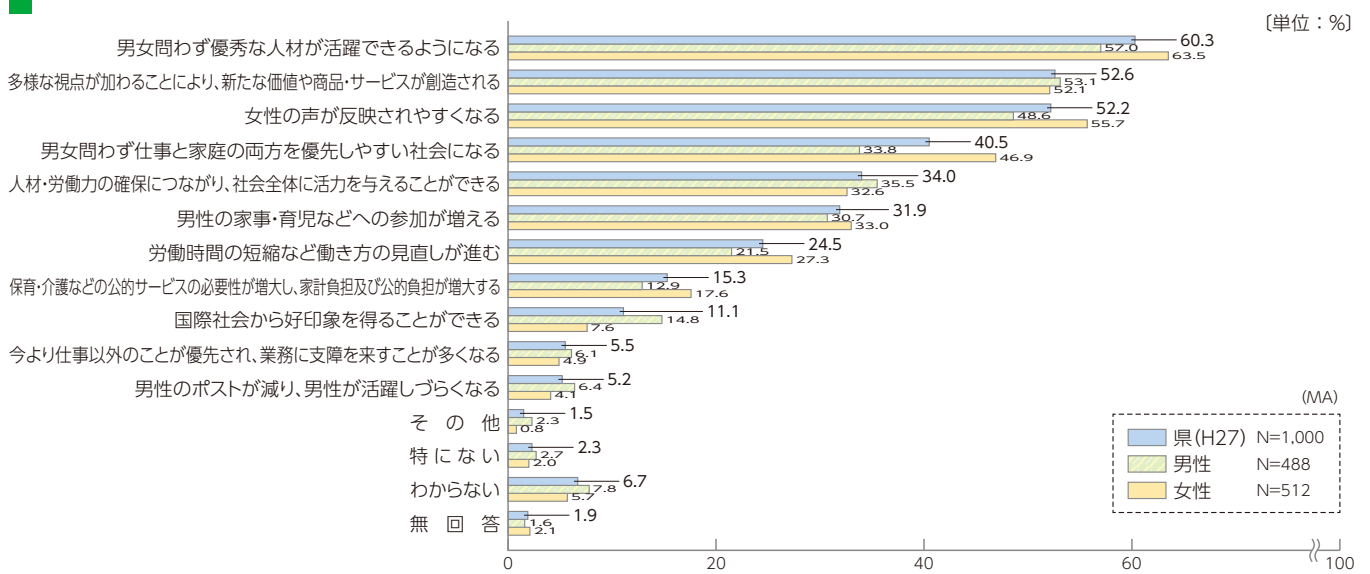


女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと

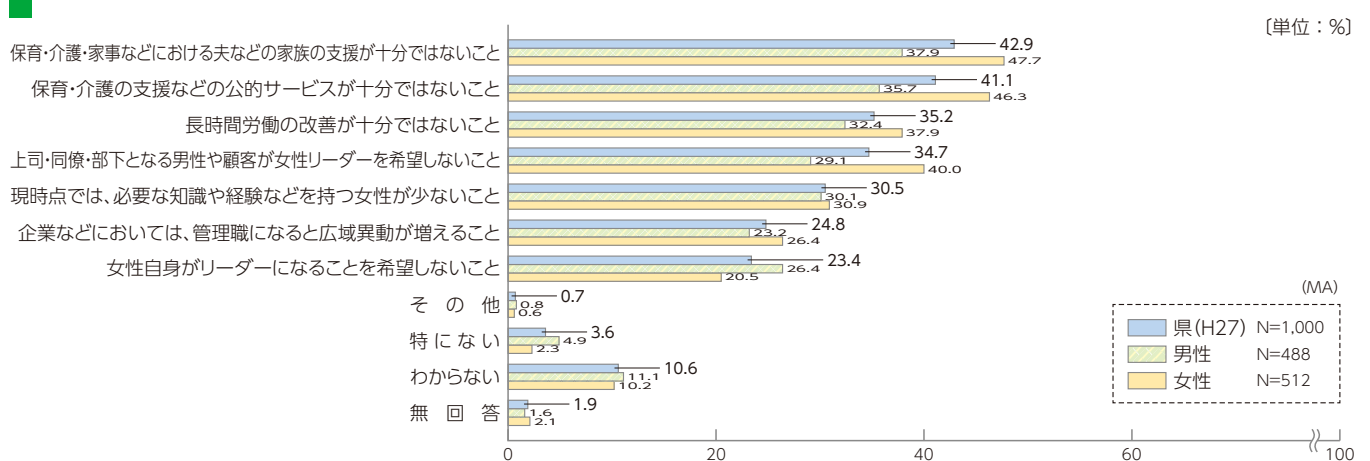


V 政策方針決定・女性の活躍推進

女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿



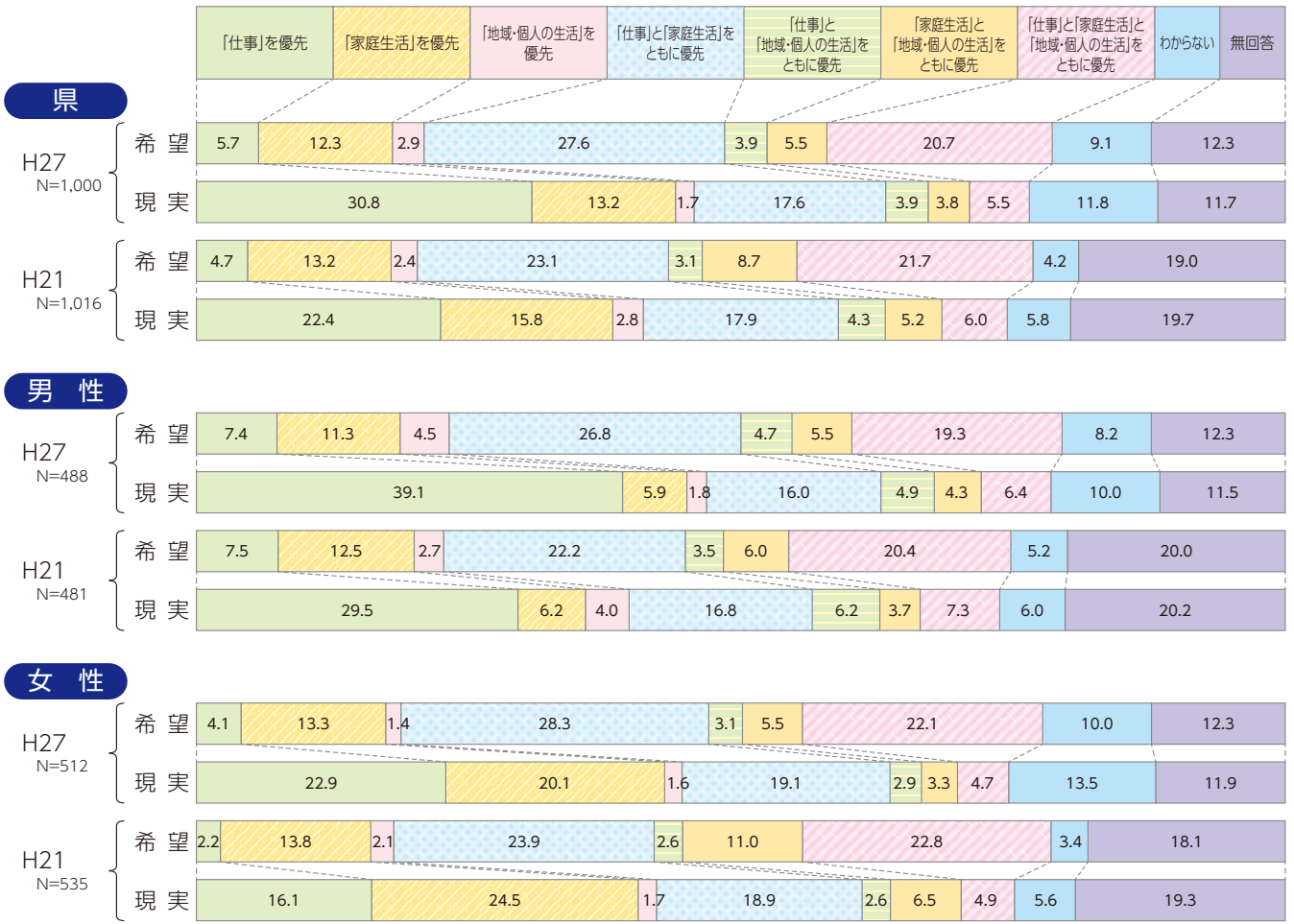
女性の活躍を進めるに際しての障害



VI 仕事と生活の調和 (男性の働き方の見直し)

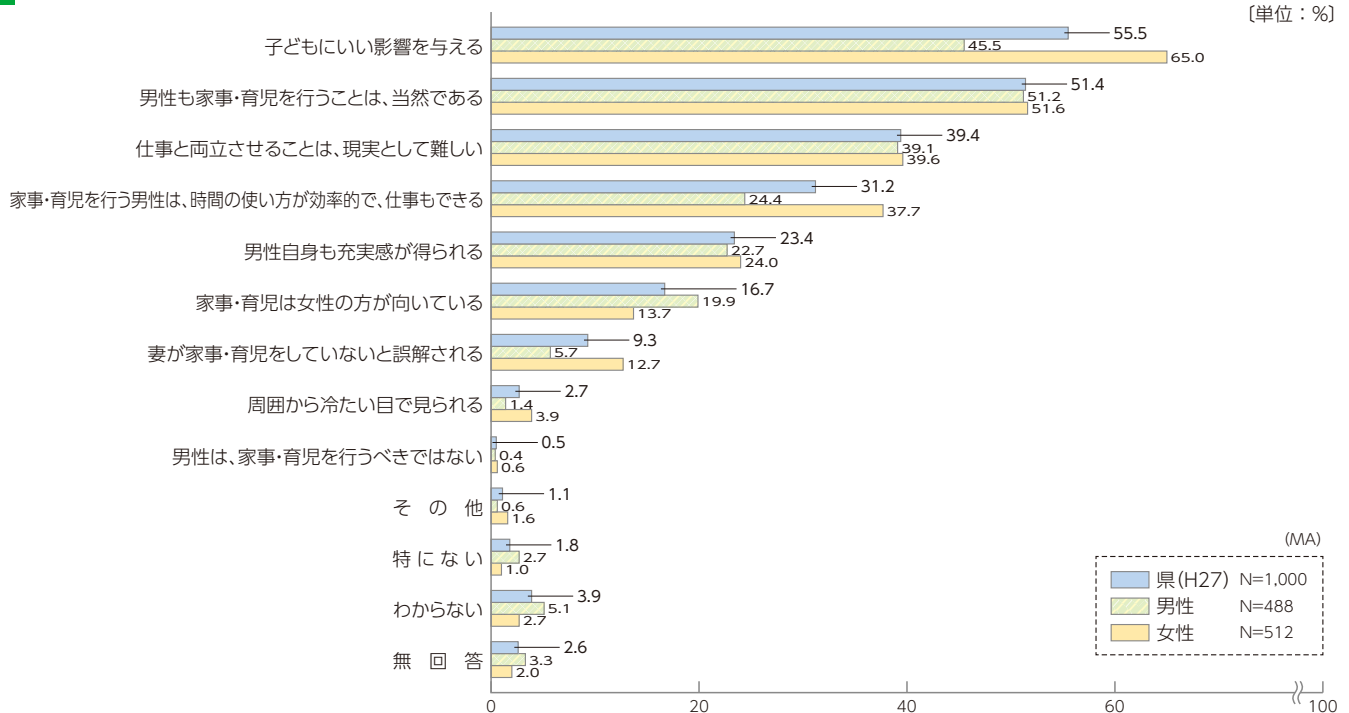
仕事と生活の優先度(希望と現実)

[単位：%]



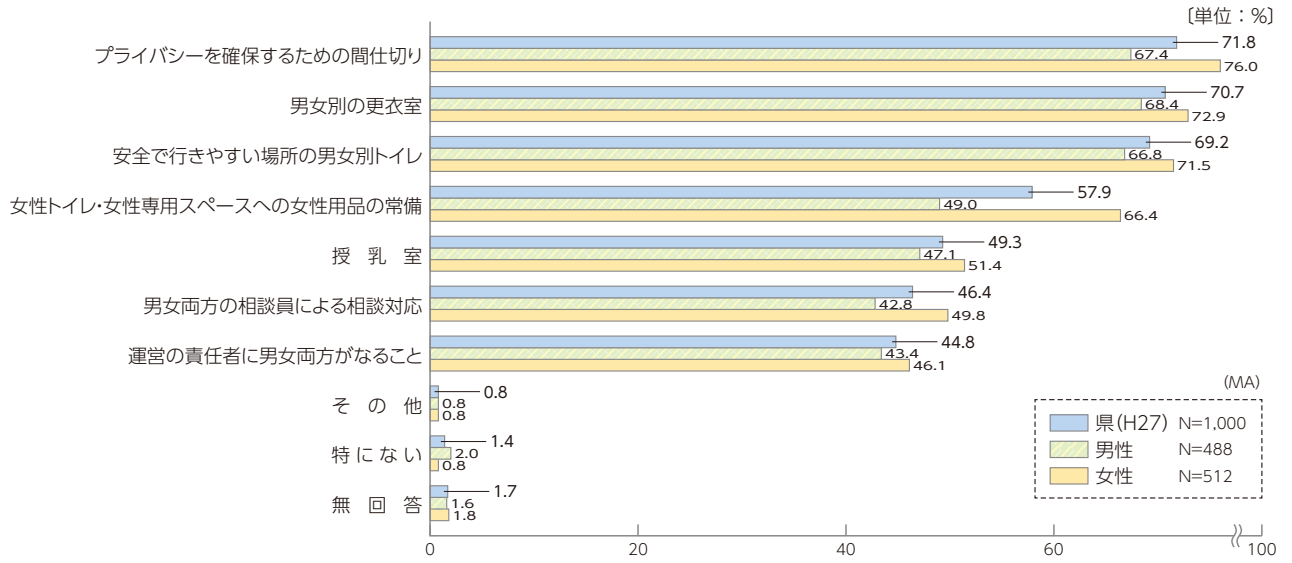
男性が家事・育児を行うことについてのイメージ

[単位：%]



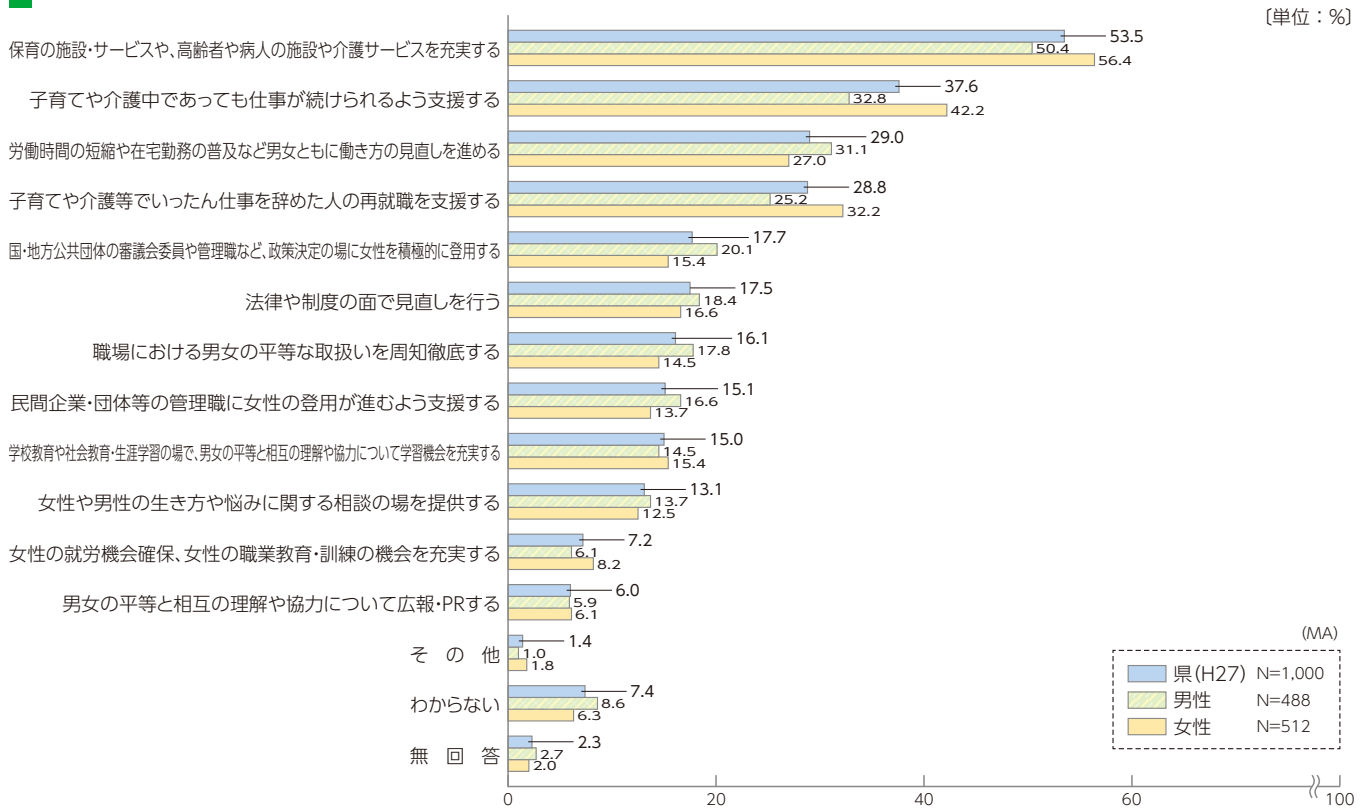
VII 防災

災害が起きたとき、避難所に必要なこと



VIII 男女共同参画社会

男女共同参画社会の実現のために望む施策



平成27年度 富山県男女共同参画社会に関する意識調査 ダイジェスト版